

体テーマ 「児童生徒の学びを深める授業づくり」～「伝える力」を培うために～

学部テーマ 『進路実現につながる生徒の『伝える力』を養うための授業づくり』

クラスシートプラン (各教科 ver)

学級名 高等部1年2組

授業日	10月24日(月)5校時	教科名・段階等	職業(高等部・1段階・イ)	【単元計画】																												
教科等名 単元(題材名)	「後期現場実習に向けて」																															
単元(題材)の目標(単元・題材を通しての児童生徒の目指す姿)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>知・技</th> <th>思・判・表</th> <th>学・人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 実習について知ろう(2)</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2 こんな時どうする?～仕事編～(3)(本時1/3)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3 電話の掛け方を知ろう(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 実習の目標を決めよう(1)</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5 現場実習に行こう</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6 現場実習を振り返ろう(2)</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	活動内容	知・技	思・判・表	学・人	1 実習について知ろう(2)	○		○	2 こんな時どうする?～仕事編～(3)(本時1/3)	○	○	○	3 電話の掛け方を知ろう(1)	○			4 実習の目標を決めよう(1)		○	○	5 現場実習に行こう	○	○	○	6 現場実習を振り返ろう(2)		○	○
活動内容	知・技	思・判・表	学・人																													
1 実習について知ろう(2)	○		○																													
2 こんな時どうする?～仕事編～(3)(本時1/3)	○	○	○																													
3 電話の掛け方を知ろう(1)	○																															
4 実習の目標を決めよう(1)		○	○																													
5 現場実習に行こう	○	○	○																													
6 現場実習を振り返ろう(2)		○	○																													
(1) 現場実習や卒業後の生活で必要となるやりとりの仕方を理解することができる。 (2) 授業や現場実習を通して、自分の課題に気付き、改善点について考えることができる。 (3) 卒業後の進路と結び付けて考え、自分自身のよりよい姿を考えようとしている。																																
□各教科の「見方・考え方」を働かせるための「しかけ」				【本時の流れ】																												
□ 働く場面で必要なやりとりであることを実感できるように、内容を精選する。 □ やりとりの良い点や悪い点、相手に与える印象について、自分たちで気付くことができるように、ロールプレイや例を見せる。 □ 人によって考え方や感じ方が違うことがわかるように、意見を出し合う場面を設定する。 □ よりよいやりとりが実感できるように、体験したり動画で振り返ったりする。																																
◎本時の目標(学びの履歴を踏まえた各教科等の指導目標)		◎自立活動の視点を踏まえた「配慮・手立て」																														
「知識及び技能」	「思考力・判断力・表現力等」	「主体的に学習に取り組む態度」																														
◎ 教師と一緒によりよい自己紹介について考えることができる。	◎ 教師の例をみて、良い点や悪い点、相手に与える印象を考え、ワークシートに書くことができる。	◎ よりよい自己紹介のポイントを踏まえて実践しようとしている。																														
D ○後期の現場実習で起こりうる場面を設定することで、客観的に課題に取り組み自分の生活に取り入れることができるようにする。(人間関係の形成) ○教師の例を取り入れることで、具体的に良い点や悪い点、相手に与える印象に気付き、改善点を考えることができるようにする。(コミュニケーション) ○良かった点や改善すべき点を教師と一緒に振り返ることで、次の活動に自信をもって取り組むことができるようにする。(心理的な安定)																																

P

D